

平成26年度実施プログラム参加者アンケートの主な意見・感想

感想・意見

《実施者と受講生との交流》

- ・ 講義や実験、先生・大学生や他の高校生との交流を通して科学に興味がわいてきました。
- ・ 先生方と大学院生のTAの方々の話がとてもおもしろく、地球の岩石や環境変化に興味がわきました。
- ・ 留学生と交流できて楽しかった。
- ・ 様々な体験ができたし、大学生の話も沢山聞けて楽しかった。

《参加者の募集について》

- ・ とても充実した良い内容だったので、もっと大勢参加者がいたらもっと盛り上がったのではないかと思います。少人数でもったいなかった。参加できてよかったです。
- ・ 地域でこの企画の認知度の差があり、私はホームページからでしたが、学校からのお知らせもあるそうで、均一にしてほしいと思います。すべての子供に教育の機会を与えて下さい。
- ・ 旧盆と講座の時期をさけた夏休みが高校生には参加しやすいです。募集(お知らせ)が早い時期にあると準備がしやすいです。

《将来・研究者について》

- ・ 将来は家畜の臨床獣医師を志しています。その中で、研究職も一つの選択なのだと、今回の機会を通して興味を持ちました。ありがとうございました。
- ・ 自分がどのような進路に進みたいのか、考えるよいきっかけになりました。
- ・ XMASSについても知ることができてよかったです。私も将来科学者になって素粒子物理学や宇宙についての研究をしたいです。
- ・ 研究者の方ともっと話をしたい。体験談や志望した動機など、個人的になるかもしれないがもっと話してみたい。
- ・ 今までしたことのない様々な経験ができました。特に解剖はとても楽しかったです。道のりは遠いですが、研究者になりたいと思いました。(類似意見多数)
- ・ 大学の人達とても生き生きして楽しそうでした。研究のことも、とてもおもしろいことをしていて、なにより「自律して動くロボット」が魅力的でした。自分も将来同じことではなくても、自分なりにいろんなことをつきつめて頑張っていこうと思います。
- ・ あまり考古学について興味がなかったが、大学に進学してから学びたいと思いました。細かい部分まで見つけることや個人を発見することは大変だけど、すごくおもしろかったです。

《内容について》

- ・ 普段の授業では絶対やらない事ができたこともよかったです。あと大学の雰囲気・研究室などが見れて進路についても考えられました。(類似意見多数)
- ・ 小学生と中学生のプログラムを別々にしてほしい。小学生の場合、もう少し参加できる部分を増やした方がよかったですと思う。
- ・ 楽しかったけれど時間が少なくあまり暇がなかったからもっと時間に余裕を持って、もっと沢山の実験をしたかった。
- ・ はじめに自己紹介を行うなど、参加者同士の交流があってもよいと感じた。
- ・ 講義の内容が難しかった。専門用語が多く、少し早口だったのが、分かりにくい原因だと推測します。(類似意見多数)
- ・ 振動の科学が地震対策など幅広い所に应用されている事を知り興味を持った。
- ・ 実習が多く、自分で作ることで自由研究などに取り上げやすいテーマだった。本格的で手がこんでいてとてもよかった。
- ・ 最初の説明が長かったので、もう少し短くして、たくさん実験したかったです。
- ・ 子供向けの体験教室は数多くありますが、今回のように内容も高度な上、実験も体験できる充実したものはほとんどないので、大変よかったです。(保護者)

平成26年度実施プログラム実施者アンケートの主な意見・感想

感想・意見

《募集方法・広報について》

- 近隣高校に伺い広報活動したが、本事業を知っている先生はいなかつたため、学術振興会自身が小中高生に対し本事業のアピールをもっと積極的にして欲しい。
- 一人でも多くの学生に本プログラムに興味を持って頂くために、広報にも注力した方が良いと感じました。研究者が中高校へ直接赴くなど積極的に行うべきだと思います。
- 参加者への広報、および登録後のキャンセルが多いことへの対応が課題である。
- 参加者の募集については、学振のウェブページからの情報とともに、各高校先生や関係者からの口コミによる連絡が有効なようです。
- 将来を見据えた事業ですので、テレビや新聞などを通した全国的な広報を学振にしてほしい。
- 積極的にホームページに動画を載せるなど、工夫してほしい。他のグループの実施内容が分かるようにしてほしい。書面ではなく生の動画映像やYou Tubeアップロードなど。
- 参加者の確保に苦労した。今回は告知を開始した時期が夏休み期間であったため、直接学校に告知できなかつたことが反省である。

《プログラム実施について》

- モチベーションの高い高校生と触れ合うことで、自分の実験に対するモチベーションも上がった。自分の技術力の低さを実感した瞬間もあった。やる気のある人は、学年に関係なくよくできる。自分も頑張らなければと心から思った。
- 生徒たちの率直な反応を見て、教える楽しさを知ることができ、自身にとっても有意義な時間となった。(類似意見多数)
- 7月前半での実施が可能になれば、クラゲの採集を含めたフィールド観察を取り入れることができる。もう少し実施時期を早めることを認めてほしい。
- 保護者の方々の参加も歓迎したいという気持ちがある一方で、実験中に色々と質問されて子どものサポートにまわれないことが度々あった。可能ならば保護者にも同じ実験をさせてはどうかと思った。
- 申請の際、1日のプログラムで導入から実験・討論・発表までもっていくことを求められていましたが、不可能です。
- もう少し1日のスケジュールを短くしたほうが、生徒にも教員にも負担が軽くなると考える。
- 少・中学生の知的好奇心を刺激するのにとても有意義だと思う。(類似意見多数)
- このような事業を無理に増やすのではなく、十分に濃い内容のものを実施したほうが良い。
- 参加申込者が増加してきているので、継続して実施することができていることにより、少しずつこの事業に対する関心が高まっているように思います。
- 1人にかかる費用を少額にしても、もう少し多くの小学生に体験してもらった方がよいと思う。

《内容について》

- 本プログラムの対象者が小学～高校生と幅広かつたため、小学生には難しいと思える内容の講義があったと思う。対象者の範囲をもう少ししぼり、より参加者の理解の出来るプログラムの設定がベストかと思いました。
- 教授の講義が長すぎた。中高生相手なので内容と量は見直す必要がある。
- 物理の現象を分かりやすく楽しく理解するとともに、レポートの難しさやデータでの取扱いについて知ってもらう機会になったと思う。レベルの高い実験をしており、中高生にはとてもいい経験になったと思う。
- 小学生には難しいかと思われる内容だと思ったが、参加者が楽しいと言ってくれたのでよかったと思う。

感想・意見

- ・ 今年プログラムが1日で実施するように指示があったので、夜の天体観測が出来なかった。それを楽しみに来ていた高校生も多かったため、非常に残念だった。
- ・ 今回のプログラムは拘束時間が長かったため(約7時間)、次回以降は短くしたほうが参加者が参加しやすいかもしれない。

《経費について》

- ・ 予算的に少し厳しかったため、実施協力者に十分な謝金が出せない。モチベーションを高めるためにも可能な範囲での予算措置を考えていただきたい。
- ・ 素晴らしい事業であるので、予算拡大をお願いしたい。
- ・ 食費が1人当たり1000円(税込)でしたが、クッキータイムも行いましたので足りませんでした。参加者の満足度を高めるために、上限を少し上げて頂くことを期待します。
- ・ 今の中学生・高校生に合ったネーミングやイラストを用いた方が参加率は向上すると思います。(現状では小学生向きに見えてしまうと思います。)参加人数及び内容に見合った予算配分をして頂けると助かります。

《その他》

- ・ 少しずつで良いので、広報用資料(イラスト、ロゴマークetc)を充実させて欲しい。リーフレット等の元データ(イラストレータ形式等)があると、広報用資料作成が楽になる。
- ・ 何年後かに、この事業がどれくらい印象に残っていて、参加者にどのような影響を与えているか評価するポイントがあればよいと思います。そのことで、PDCAサイクルの繰り返しによって実施内容の検討にもつながるため、難しいとは思いますが、検討していただくと嬉しいです。
- ・ 本人や保護者の同意がなければ動物の解剖をやらせることができないのは一般的なことなのか。植物や下等な動物ならば解剖は同意なしにできるのか。解剖学を教えようとする者にとっては、学生を教育しにくい環境である。
- ・ 今回、20名という規模での開催で、子供たちがほとんど全員目を輝かせて参加していたと感じました。もし機会があるのなら、全国各地でこういったイベントを開催して、より多くの子供に科学や大学生とかと交流する機会を持たせてあげて欲しいです。
- ・ 3年サイクルで重点テーマ、例えば環境を中心に全国で展開するなどの新しい企画をお願いします。
- ・ 採択数をできる限り多くしてほしい。